



Weekly Report

名古屋みなと

2024~2025

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 棚橋 顯 幹事 中井 規博
 広報・雑誌・会報委員長 芹澤 謙一

THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック R.I. 会長 ステファニー A. アーチック



第 2724 回例会 No.16
 2024年(令和6年)12月13日(金) 晴
 「奉仕の理想」
100万ドル例会 (カレーライス)

出席報告

会員 62名中 40名 出席率 64.51%
 Oスピーカー
 msfp株式会社 代表取締役 神谷 親宏さん

会長挨拶

会長 棚橋 顯さん



皆様こんにちは。先週はガソリンの危険性について話をいたしました。今日はガソリン価格の話をいたします。

自民、公明、国民民主の3党が11日、ガソリン税の暫定税率廃止で合意しました。日本のガソリン

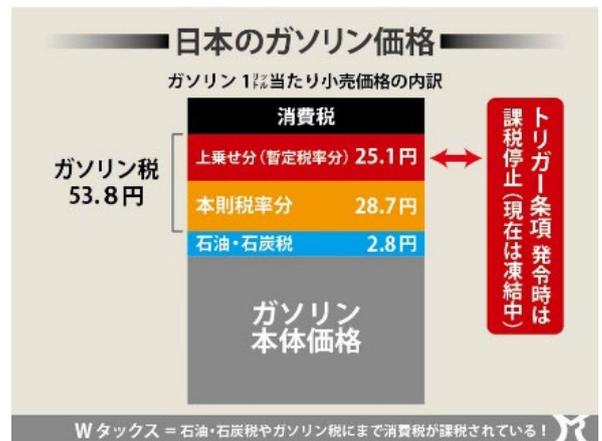
には図のように複数の税がかかっています。一つはガソリン税で1リットルあたり計53.8円、石油石炭税と温暖化対策税で同2.8円。さらに消費税10%がかかっています。暫定税率は本来、全国の道路整備の財源不足に対応するために昭和49年に導入され、現在はガソリン1リットルあたり、本来のガソリン税28.7円に加え、25.1円の暫定税率が上乗せ徴収されています。平成元年の消費税導入時には、ガソリン税が含まれた小売価格に消費税が課されることになり、二重課税状態が続いています。

「トリガー条項の凍結」という言葉を聞かれたことがあると思いますが、トリガー条項とはガソリン価格の全国平均が3カ月連続で1リットル160円を上回ると自動的に発動して暫定税率を免除し、発動後3カ月連続で130円を下回ると免除が停止する“自動減免措置”のことですが、東日本大震災の復興財源を確保するために凍結され現在に至っています。国民民主党はこのトリガー条項の凍結解除を求めていましたが、今回の3党の合意により、一気に暫定

税率そのものが廃止される見通しとなりました。

暫定税率廃止でガソリン代金がどれくらい安くなるかということ、経済産業省によると、レギュラーガソリンの店頭小売価格（今月9日時点）は、全国平均で1リットル175円70銭でしたので、単純計算すると、現在支給されている国の補助金がない場合でも165円台になると思われます。ただし地方税と合わせて約1兆5000億円の減収が見込まれるために、年収の壁の引き上げと同様に、地方財政への措置が必要になると思われるので新たな税負担が発生するかもしれません。

ガソリン車から電気自動車へと急激にシフトするようなことが言われていましたが、最近の欧州では、購入時の補助金や税優遇制度の縮小、充電スタンドの整備不足、市場価格が下がらないなどの理由で電気自動車の普及が停滞しています。まだまだガソリン車の需要は減らないと思いますので、来年度に暫定税率の廃止が本当に実現するのか気になるところです。



レギュラーガソリン	180円
本体価格	107円
ガソリン税(本則)	28.7円
ガソリン税(暫定)	25.1円
石油税	2.8円
消費税	16.4円

税金合計 73.0円で、全体の41%!

認証伝達

ポールハリス・ソサエティ
ポリオプラス・ソサエティ 福西 康和さん



ニコBOX

(神谷親宏さん卓話よろしくお願ひいたします)

棚橋会長

(本日の卓話、神谷さんよろしくお願ひいたします)

中井幹事

(前回 15 年皆出席の表彰を頂きありがとうございます)

遠藤さん

(卓話します。「M&A」です)

神谷さん

(2023-2024 年度理事役員の皆様、私のお疲れ様会
と記念品を頂きましてありがとうございました)

藤掛さん

本日合計	24,000 円
累 計	1,227,110 円

委員会報告

「会員満足度アンケート調査」の集計結果について
クラブ戦略委員会委員長 寺本 善雄さん



8 月の下旬にクラブ満足度のアンケート調査の協力をいただきましてありがとうございました。

58 名の方にご協力いただいております。少し時間がかりましたが、アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。橋本さんに特に力を入れていただいて、円グラフと棒グラフでまとめてあります。本日 FAX 連絡の方だけコピーしてお渡ししております。

個別にいろいろ意見をいただいておりますが、それはまた別途まとめてありますので、そちらもご覧いただきたいなと思います。

全般的に各質問に対して、熱い思いの方が多いと感じ、うれしく思っております。将来のビジョン、戦略、計画策定にこのアンケート結果を生かしていきたいなと思っております。よろしくお願ひします。

このデータは、例会後に事務局から全会員の皆さんに配信させていただきますので、よろしくお願ひします。

幹事報告

中井 規博さん

本日の例会は「100 万ドル食事の日」です。1960～61 年にロータリアンが 50 万人になったのを記念して 1 人 2 ドルずつ食事代を節約して 100 万ドルを寄付したのが起源となります。名古屋みなどでは通常の食事からカレーにすることで一人当たり 1,600 円の差額となり年 5 回 8,000 円、クラブとして 50 万円弱をロータリー財団に寄付しております。

【地区】

- ・ 12 月 8 日 第 4 回グローバル奨学生・平和フェロ一委員会/奨学生候補者面接会
(出席：長瀬さん)
- ・ 12 月 10 日 第 4 回社会奉仕委員会
(出席：橋本美穂さん)
- ・ 12 月 12 日 第 5 回ラーニング委員会
(出席：寺本さん)

【配布物】

- ・ クラブ戦略委員会案内書
- ・ 何でもやってみる同好会の釣り部会案内書
- ・ 新入会員研修会案内書、今日からロータリアン（新入会員のみ）
- ・ 会員満足度アンケート 回答結果（FAX 対応者 3 名のみ）
- ・ 名古屋丸の内 R C 創立 30 周年記念式典のご案内

卓話「M&A」

msfp 株式会社 代表取締役 神谷 親宏さん



本日は、M&A についてお話しさせていただきます。

事業として成り立っているのにもかかわらず、跡取りがいない、事業を継いでくれる方がおらず黒字で廃業しているという会社が、年間や約 6 万社あります。第三者承継をしているところ

もあります。全体の数%しかないとデータも出ています。

なぜこのような話をしようと思ったのかをお話する前に、新入会員の方もいらっしゃると思いますので改めて自己紹介させていただきます。私は大学を出まして、保険会社三井住友海上社に 3 年間勤務し、リテールマーケットで個人法人の営業の担当をしておりました。その後父の経

営する保険代理店へ入社し、現在保険代理店を引き継いで、現在創業 60 年目でございます。

「M&A(第三者承継)」に考えが及ぶきっかけは、今から 10 年前、群馬県太田市の関東学園大学経済学部の第 1 回目の外部講師に招かれ、営業の講義をした時に、営業のプロセスやアイデアを学生にお話しし、どう伝えるかで随分変わるんだということをお伝えしました。若い人たちがスタート地点に立った時に、そのスタート地点に立った時点が、もう既に一步先に出ている人になってもらいたいという気持ちが芽生えました。

そこで、名古屋市立大学大学院に入学して、今も現在進行形で、経済学研究科の研究生をしています。「進化型実務家教員」として、学べる場があり、今後学生達のに教えたり、伝えたりしたいという思いの中で専攻しています。

あともう一つは、急激な人口減少です。超小子高齢化の日本で、生産年齢人口である若い方が急激に減っていく状態で、東京都でさえ 10 年後は急激な人口減少が始まると言われてます。この 1 年間で人口が約 50 万人減っています。50 万人減が 5 年続いたら名古屋市は消えてしまうぐらいのインパクトがあるということです。社会を担っていく若者たち、また子供たちは社会に出た時、否応なく少数精鋭にならざるを得なくなっていきます。個人的には、コンビニの前で屯ろしているような若者たちのままだと、日本が潰れてしまうのではないかと、危機感を感じています。それを回避するためにも、アントレプレナーシップや、営業教育、第二創業(第三者承継)についても、これから社会に出る若者に伝えていきたいと考えています。

また、学んだ学生たちが社会に出た時に、後継がなく、黒字で廃業を選択している会社さんを引き継ぐ選択「第三者承継」をしてみたい、という方を増やしたいと思いました。この事業承継(第三者承継)、これは大切な事なんだということをひしひしと感じております。

黒字にもかかわらず、事業は継続できたはずなのに後継者がなく廃業になってしまった会社が年間約 6 万社と言われてます。日本経済にとって大きな損失です。ここを第三者承継により事業継続ができるようなればという思いです。

私は保険の仕事で日本全国の地方都市に行きますが驚くほど人が減っています。私が山梨学院大学を卒業したのは 34 年前ですが、昨年、山梨を訪れたらゴーストタウンになっていました。恐ろしいぐらい町が急激に衰退していました。名古屋から出てみないとこの感覚は絶対わからないと思います。まだ名古屋は賑わいがありますが、現実問題として、早く手を打たないと、今行動しないと、日本の未来はないなと思いました。技術が消え、雇用がなくなり、地域経済がなくなる、こういった現象が起きています。

直面する後継者の経営問題です。会社を興し、法人でも、個人でも事業をしますと、例外なく 5 つの出口が出てきます。

企業の出口の選択枝

法人、個人にかかわらず、企業は一旦誕生すると例外なく、次の『5つの出口』の選択を迫られます。



清算の場合は結構大変です。地域経済が地盤沈下していきます。従業員さんが毎日通っていた定食屋さんやコンビニ、またその会社さんの取引業者さんたちは、顧客先を失うことになります。そして、従業員の方は再就職のために就職活動しなければなりません。

このような清算する会社ご自身の会社の顧客先だとすると、顧客先が自動的に年間約 6 万社消えていく、自社の売上も消えていく、というのが現状です。

出口の選択が変える未来

清算であれば・・・

- 技術が途絶える・・・
- 雇用機会喪失(家族)
- 地域経済(定食屋、取引先)が疲弊
- 社員は失業し就職活動
- 社長は資金を手出し



• 顧客先は無くなる

M&Aにより・・・

- 技術が承継される(国益)
- 雇用が継続する
- 地域経済が守られる
- 社員の福利厚生は充実
- 株の譲渡対価が入る



• 顧客先が継続する

続いて本題の M&A(第三者承継)です。M&A(第三者承継)を選ぶと、技術と雇用が承継されます。これは素晴らしいことです。日本のものづくりは凄く、技術・雇用を継続することで、地域経済も守られます。仮に御自分の会社を譲渡して売却するとなると、譲渡対価が皆さんに入ります。これが逆の立場から言うと、お客様先が残り、自分のところの顧客が残り、売上げが継続するということになります。

皆さん羽衣文具さんという春日井市のチョークのメーカーをご存知ですか？

チョークをつくり続けて 80 年の技術が素晴らしい会社でしたが、2015 年に廃業する事になりました。廃業が決まったところアメリカの教員組合から 4 トン注文がきました。このチョークがどんなものかという、しなっ折れない、手に粉がつかず、黒板に書くと発色が良くとても見やすい、すごく品質が良いチョークでした。この技術は、この会社しかありません。ところが、なぜ廃業したのかというと、社長の体調不良と、お子さんが娘さんばかりで会社を引き継がなかったという事、あとは単価の下落と市場シェアの半減、いろんなことが重なって廃業ということになってしまいました。

日本の未来を心配する理由

羽衣文具(株)はなぜ...

「チョークを作り続けて82年、この度廃業することになりました...」
2015年春、自主廃業

体調不良、子供は娘ばかり・・・社内に後継者もおらず
単価は下落一方(公立学校は入札制度)
市場シェアは半減(ピークは1990年の9000万本)

事業の危機感、経営者から見た

2015年春、自主廃業

2015年春、自主廃業

2015年春、自主廃業

2015年春、自主廃業

2015年春、自主廃業

2015年春、自主廃業

2015年春、自主廃業

2015年春、自主廃業

2015年春、自主廃業

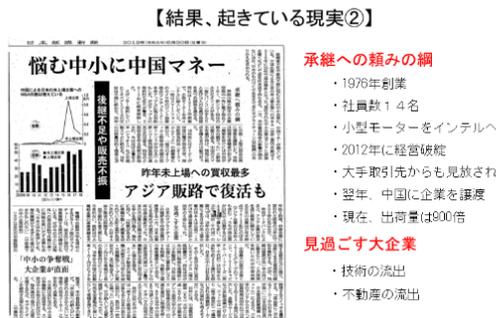
このような事例を増やさない為に、今、私達は何に取り組むべきか？



そして、この廃業を聞きつけた韓国の塾講師の方が、全財産をはたいて、韓国からわざわざ羽衣文具さんに「この会社を引き継ぎたい」と買い取りに来たそうです。この塾講師は以前、東京に研修に来たときに羽衣文具のチョークをお土産でもらい、韓国の塾で使ったところ、発色がよくて見やすい、と塾の生徒からも好評だったそうです。会社は塾講師へ承継され、韓国に技術も雇用もいってしまいました。今このチョークを買おうと思うと韓国から輸入しないと買えません。韓国の塾講師の方は見る目が良かったのだと思います。まだまだこれから教育が盛んになってくる途上国など、マーケットはまだあるので、この会社の売上は伸びています。

誰かが声を掛けていたら、わかっていたとしたら、私が引き継ぎたいという方がいたかもしれません。しかし、このすばらしい技術は、海外に行ってしまうと、もう帰ってきません。こういったことがこれ以外にも起きているのです。

結果的に起きている現実②



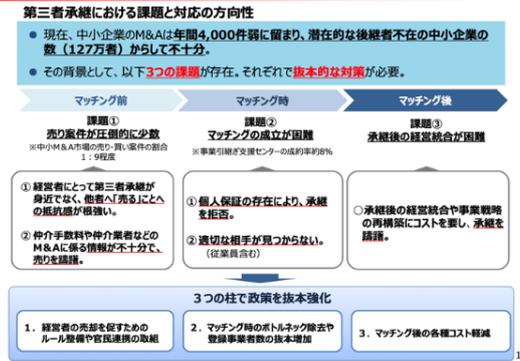
M&A「第三者承継」、マッチングの情報量が少なすぎるので、情報の流通について、ロータリーでやれるといいのではないかと芹澤さんに以前お話ししました。

M&A センターなどの大手仲介会社は中小零細企業をあまり相手にしません。持っていく仲介手数料は1件最低2,000万円と言われていて、会社を譲りたい、承継したい、と思っている人が高額な仲介手数料のため躊躇してしまい、承継がすすみません。この中小零細企業への担い手がいないかと僕も調べました。そうしたらあったんです。僕はそこにコンタクトをとって、ジョイントすることを決めて話を進めました。中小零細企業だけに特化したM&A(第三者承継)をやっていきなという思いを実現することが可能となりました。

この第三者承継の必要性には問題点が3つあります。マッチング前はそもそも情報がない、また、準備しておくことが必要で、また、そもそもマッチング自体していないのが一番大きな原因です。また、マッチングの際、資金を融通するために、銀行にお願いしてお金を借ります。今はあまりやらないかもしれませんが、昔、融資する際は、個人保証、個人担保をとられます。銀行は個人保証を入れているため、なかなか担保が外せないということがあります。

3つ目として、承継後、合併をしたものです。これもやはりなかなか経営統合というのが難しいです。どれも、やはり事前の準備がないからというのが一番問題です。

第三者承継の必要性

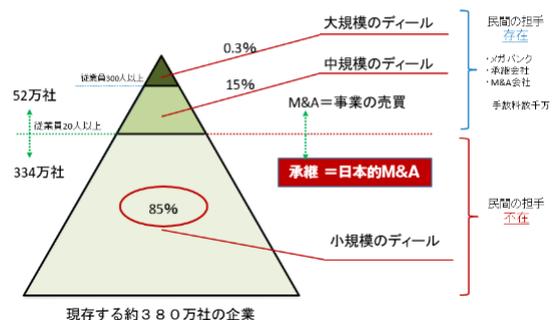


私の会社も跡取りがいなくて、マーケットを全国拡大していますが、まさに自分にも直面している問題です。自分のときに何を考えたかという、会社の価値がどうなっているのか、買ってくれる会社から見たときに、この体制で安い、買いやすいな、儲かりそうだなと思ってもらえる、そんな仕組みにしておかなければいけないと気づきました。

このみなとRCの先輩方の中には既に事業承継が済んで息子さんが社長や専務をされている方は多いと思います。承継が進まない理由の一つは、やはり高齢化です。僕は70になって子供が二十歳なので、まだまだ僕もやらなければいけません。このグラフを見てよくわかると思うのですが、年齢のことは私自身もすごくジレンマがあります。これは恐らく経営者の方は皆さん同じ気持ちだと思います。

中小企業の現状、負のスパイラルは本当に始まっています。環境の変化、超少子高齢化、後継者不在によって業績は悪化、会社は倒産、清算、雇用喪失、経営悪化、技術消滅。これが今の実態です。本当になくなってしまいう前に、手遅れになる前に。

第三者承継支援の現状



優良企業が毎年消えていくという諦め倒産、諦め廃業、これを何とか無くしたいなという気持ちであります。第三者承継の支援の現状は、こんな風書いてあります。380万社のうちの50万社は中小といっても大きい大企業に近い所です。こういった企業は、大手のメガバンクや、M&Aの会社が手数料を取れるからといって飛びつくようにフィーを取りにいきます。私はやるとしたらFA方式、個々にちゃんとアドバイザーがついてやっていくというのが恐らく一番いいと思います。残り約330万社は、小規模の仲介です。仲介人(FA)と士

第3回創立60周年記念事業実行委員会議事録

とき 12月13日(金) 13:35～
ところ 名古屋マリオットアソシアホテル
17階「桐」

出席者 棚橋 室原 寺本 芹澤 鈴木 梅田
杉江 長瀬 沼野 加藤(嗣) 加藤(昌)
猪子 藤掛 13名

議事録作成者 長瀬

1. 会長挨拶(棚橋 顯)

・前回から1ヶ月ほど時間が空いていて、その後の状況が変わってきているので、本日はぜひここで議論をまた活発に進めていただきたい

2. 会長エレクト挨拶(室原 國彦)

・前回の年次総会で理事役員の承認をいただき感謝申し上げます。猪子会長ノミニーも参加されているので、3ヶ年の計画的な運営もよりやりやすくなっている
ので、引き続き、ここで議論を詰めていただきたい

3. 創立60周年記念事業 準備作業進行状況について(寺本 善雄)

・その後各部会で議論がそれぞれ進んでいるので、本日議題を持ち寄り、ここですり合わせをしていきたい

4. 記念式典について(加藤 昌哉)

・現在候補に入れているアトラクションは予算の範囲内に収まる目算である
・内容にインパクトがあつていいが、会場の制限が問題となるので、現在ホテルに確認中・内容として問題ないと思うが、全体の進行・時間配分を考えて最終的に決定とする方向で進める

5. 記念事業について(長瀬 廣幸/藤掛 誠一郎/加藤 嗣郎)

1)[11/12(火) 寺本・室原・沼野・藤掛4名で能登訪問報告]

・「もとやスーパー」の現地訪問を通して、あらためて現地の惨状を目の当たりにしたが、ここを現地の復興のシンボルとしたい、地域に光を当てていきたい、という本谷社長の熱い想いに触れ、感銘を受けた。東急ホテルやドン・キホーテなども支援に名乗りを上げているくらい注目度は高い

・輪島 RC への例会にも参加してお話を伺った。発生当時から比べて11ヶ月経っているが、仮設住宅・ライフラインがたとえ少しでも復興が進んでいるだけで、気持ちは随分前向きになっており、輪島市内はまだ軽い方だと考えているとのこと

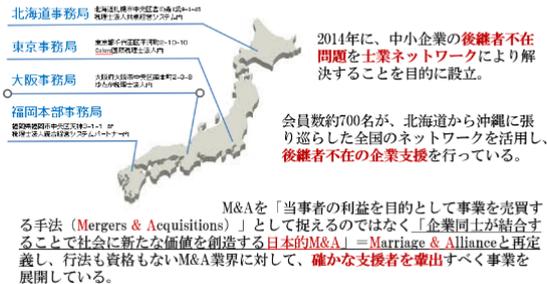
・先日震度5強の余震があつたが、被害報告は特段なかったとの報告が入っている

2)[11/21(木) 金沢みなと RC とのオンライン会議]

業の専門家で承継作業をきちっとできるような道筋をつけてやっていけるだろうなというふうに考えています。現在、その枠組みも進んでおります。

私は日本の M&A 推進財団と、ジョイントすることを決めました。全国で 800 名余りの情報を持たれている土業の方々のネットワークです(主に税理士)。売りたい、買いたい、といった情報を多数持っています。こういった情報を整理して取組んでいきたいと思っています。

日本のM&A推進財団とは



弊社独自では、沖縄から東北までの地域で連携を検討しております。



こちらが第三者承継の教科書でございますので、こういったものを手に取り、ごらんになっていただければと思います。

実際、この本の中では、130年続いたかまぼこ屋さんが、身内ではなく、このかまぼこの大ファンだった女性が、今社長となった話が紹介されています。こういったことをどんどん知っていただいて、広めていただきたいというのが今日の私の卓話のお話でございます。

まさに歴史という縦糸を次世代に承継していく為に、M&Aという手段ではありますけれども、やはり新しい人材でこういった手段を使って横糸を入れていくような新たな歴史を創造していく手段の一つとして第三者承継があるんだということを皆さんにお伝えして卓話を終わります。ご清聴いただきましてありがとうございます。



歴史という“縦糸”を、
次世代に継承していくために
M&Aという手段で“横糸”を紡ぐ。

新たな歴史を創造していく手段の一つとして
M&A(第三者承継)があると考えます

- ・当クラブとしては、もとやスーパーの周辺地域の復興を、金沢みなとRCと一緒に「人と人が繋がる、将来に亘って継続できる支援事業はないか」を軸に現在討議を進めている
- ・事前に現地の方々のヒアリングを試みようとしたが、元々人に弱みを見せない地域性があるため、なかなか生の意見を拾うことが難しい
- ・金沢みなとRCからは、「クラブ内での熱量を上げていくようお願いしたい」「継続的に互いの関係が継続できるような事業として欲しい」というご意見をいただいている

3) [総論]

- ・記念事業としての位置づけとしては規模的に無理があり、むしろクラブで取り組むべき社会奉仕事業のスケールになってきている感がある

⇒ そこで、一括して事業を完結させるのではなく、これを“皮切り”としてスタートとするきっかけにしてはどうか？

- ・相当吟味しないと事業全体のイメージが具体化できてこないで、会員全体のコンセンサスを取ることが肝要

・いますぐ「何をやるのか」を決めることは難しいかもしれない、物理的な支援なのか的支援でいくのかの議論を詰めていく必要がある

- ・みんなでやることでメンバーの間に「奉仕の心」が生じるような事業にしたい

・ロータリーは単年度で運営されているので、事業も単年度で予算化し実施されているので、次年度以降の会長の方針を“縛る”のはまた少し違うような気がする

⇒ RIの方針として、「3ヶ年計画」を1つの単位として動くように新しい動き方になってきているため、まず3ヶ年度運営を1つの区切りとして考えてもいい

- ・ニーズは刻々と変わっていくと思われるので、絶えず情報収集を続けていながら、事業の具体的方向性を探っていくのがいいのではないかな？

・12/23のZoom会議でさらに金沢みなとRCのお話を聞きながら、何ができるのかを探っていく、同時に北川先生の方も話を煮詰めていきたい

- ・地区の社会奉仕委員会に発信して共有して、クラブ単位ではなく地区でできることを検討してもいいかもしれない

※次回 第4回 会議予定：

2025年2月21日(金)13:40～

秋の外国人叙勲 米山学友に旭日重光章

旭日重光章 李 嘉進さん (台湾/1989-90/那珂湊RC)

<本人コメント> 茨城県の那珂湊ロータリークラブにお世話になり、ロータリーの奉仕の精神を学びました。帰国後、政府の経済部、立法委員、国家安全会議諮問委員、臺東関係協会会長を歴任し、現在は台北大学で教職を執っています。このたび、日本政府より旭日重光章を受章する栄誉に浴し、改めて心より感謝の意を表します。

1 第6代よねやま親善大使を募集 (2/14まで)

第6代
よねやま親善大使
募集!

募集締切
2025年
2月14日(金)
23:59 到着分まで



ロータリー米山記念奨学会では、第6代よねやま親善大使の募集を開始します。「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区大会・米山セミナーなどでスピーチを行い、当事業への理解を広める活動をしています。奨学期間を終了した日本国内在住の米山学友で、スピーチが得意な方、ロータリー活動に熱意のある方の応募をお待ちしています。任期は2025年7月から2年間、応募締切は、2月14日(当会必着)です。詳しくは、上記QRコードからご覧ください。お知り合いの学友で適任の方がいれば、ぜひご推薦ください。(奨学友本人からの応募が必要です)

2 寄付金速報 ～ 12月の送金はお早めに ～

11月までの寄付金は、前年同期と比べて11.6%減(普通寄付金:0.7%減、特別寄付金:16.2%減)、約8,700万円の減少となりました。12月までの寄付は300万円の寄付を含む大口寄付が6件ありました。皆さまのご支援に御礼申し上げます。12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来年1月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。早めのご送金をお願いいたします。

申告用領収書は来年1月にお送りします

「所得控除」が「所得控除」いづれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月30日(月)当会着金分までが対象です。

米山記念奨学会事務局は12月26日(水)～1月5日(日)の間休会させていただきます。来年は1月6日(月)より通常業務となります。

3 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催

2025～26年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを12月2日、都内で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、井原實副理事長の講話から始まり、事務局から学友・学友関連の説明を行った後、事例発表として第2510地区(北海道西部)の三浦信一二期委員長から、サブ世話クラブの取り組みについて発表いただきました。午後の部では、事務局から広報、寄付について説明。続いて第2680地区(兵庫県)の事例発表として、竹内博委員長から寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。その後、4グループに分かれたディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、神野重行常務理事の講評が締めくくられました。

4 来年の年賀状を米山学友がデザイン

当会では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山奨学委員長、奨学生、日当会では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山奨学委員長、奨学生、日本在住の米山学友などへ毎年賀状を送っています。来年の年賀状は、日本已「普通編」で師範として活躍する台湾出身の米山学友、栗本明さん(1997-98/駿河RC)による可愛らしいデザインです。お手元に年賀状が届いた方はじっくりとご覧ください。

どんなに遠く離れていてもお忘れな！
新年も私の思いをあなたにお届け
～感謝♡永遠に～



5 韓国米山学友会 総会開催

11月16日、ソウル市内にて韓国米山学友会総会が開催され、68人が参加しました。日本のロータリー会員のほか、台湾米山学友会の林志昇理事長(1992-94/津RC)など、海外からも多数出席。また、国際ロータリー第3650地区の李永錫バスターガバナーを含む韓国国内のロータリー会員11人も駆けつけました。

林在泳会長(1995-97/仙台東RC)の開催挨拶の後、日本人奨学生への奨学金授与式を開催。出席した7人の奨学生が奨学金を受け取り、同学友会が2016年から独自で支援している現地日本人留学生の累計数は50人を超えました。

李永錫バスターガバナーは祝辞にて、「韓国で勉学に励む日本人留学生のための奨学金支援は、日韓両国にとって大変大きな意義を持っています。両国の関係発展、そして米山奨学事業の発展につながることを期待しています」と述べました。

上海米山学友会 総会開催のご案内

◇2025年1月11日(土) 16:30～20:30
 ◇会場：上海市内(申込終了後決定予定)
 ◇申込先：alumni@rotary-yoneyama.or.jp ※12/20(金)申込締切
 [要記載事項] 代表者氏名、その他参加者氏名(全員分)、クラブ名、連絡先(メールおよび電話番号)

マレーシア米山学友会 総会開催のご案内

◇2025年2月15日(土) 12:30～(JST)
 ◇会場：Mori Kohi (クアラルンプール) ※2025年1月31日(金)申込締切
 ◇オンライン参加可能

詳細はQRコードから

月	日	今後の例会予定
12	20	例会変更 忘年家族会 12/19 (木) 16F「アゼリア」
	27	休会
1	3	休会
	10	港友例会 17F「コスモス」
		卓話 17F「コスモス」
	17	名古屋掖済会病院 看護師 休石 直美様
	24	卓話 17F「コスモス」 人材開発オフィス M'S Moment 代表 川地 美仲子様
31	卓話 17F「コスモス」 愛知産業大学経営学部 学部長、 総合経営学科 教授 石橋 豊様	
2	7	港友例会 17F「コスモス」
	14	休会
	21	例会変更 西名古屋分区 IM 2/20(木) 名古屋観光ホテル
	28	卓話 17F「コスモス」 名古屋大学大学院 医療系研究科 宮田 一志様